



## 維新政治に終止符を

### 地下鉄 民営化反対 防災と都市交通の集い

#### 高潮・津波で 大阪市水没の危機

鬼怒川の堤防決壊直後の9月12日、大阪市をよくなる会と大阪市営交通を守る会が主催した「防災と都市交通を考える市民の集い」には350人が参加し、防災問題の第一人者、河田恵昭関西大学社会安全学部教授が講演しました。

かつては海、沼、湿地帯(梅田はもと「埋田」)であった大阪。ゼロメートル地帯の浸水災害の長期化や人工島の地盤沈下、貧弱な地下空間浸水対策にふれ、大阪市営地下鉄のほん濫対策の必要性について指摘しました。

●高潮、津波、洪水の市街地はん濫危険性が年々、高くなってきている。●市街地の浸水深が地上約70cm以上になった場合、地下への浸

#### 住民投票での 共同さらに広げ

住民投票の結果にも関わらず、橋下市長は維新政治を引き続き強行し、9・10月市会へ一度否決されている統合案件、市バス地下鉄民営化手続き条例案、幼稚園9園廃止・民営化、小中一貫校開校による小学校統合な

り口の耐水化を同時に進める。○百貨店や銀行などの地下通路口の耐水化も必須である。○水没災害が起これば、6カ月以上、地下鉄、地下空間は使用できない。

住民投票の取り組みの中で、市バス、敬老バス、温水プール、地域福祉やコミュニティなどについて幅広い市民の共同が広がりました。

住民投票の投票広報で4野党が一致した政策は、「変えるべきは制度ではなく政策、ムダな二重行政はない、WTCは

#### 幼稚園民営化反対

#### 住民集会、自治体学校

中央区自治体学校が9月12日、市立玉造幼稚園問題で開かれ、21日には新高幼稚園についての住民集会が開かれました。

以下、幼稚園部の甲メさんの報告です。

2度の議会での否

#### 市労組連 事務所訴訟 最高裁要請

#### 賃金カットやめよ 人事委要請

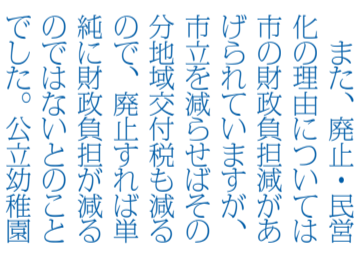
市労組連は組合事務所使用を求める訴訟で、最高裁へ上告し、受理を求める要請行動を9月16日夜行バスで出発し行いました。全労連は東京集会を開催し要請団支援の決起集会を開催しました。要請

団は戦争法廃案の国会要請行動にも参加しました。

市労組連は9月14日、「大阪府人事委員会の勧告に関する要請書」を提出しました。特に09年度から継続している「賃金カット」につい

て、府は減額措置を最終した、大阪府は平成25年度普通会計決算で242億円の黒字を計上しており、賃金カット中止を明確に求めるべきと要請しました。

また現業職、保育士・幼稚園教員の大幅な賃金引き下げの給料表を作成、強行したことは、公務員労働者の権利擁護機関の役割と矛盾している」と指摘。保育所・幼稚園の人員確保に支障をきたすことが予測されると厳しく指摘しました。勧告が民間労働者の賃金に大きく影響することから、地域経済を元気にし、住民の暮らしを守る勧告を要請しました。



中央区自治体学校 9月12日

#### 大阪市住民投票 (5月17日) 投票広報 (抜粋)

公明・自民・OSAKAみらい・共産の市議員が提出

#### ムダな二重行政はありません

●病院、大学、高校、美術館、博物館…  
二重行政ですか? いらないですか?  
●大阪市をなくさないで解消できないような二重行政はありません。  
(例) りんくうゲートタワーとWTCは、バブル期の政策の失敗です。

#### 市民サービスが大きく低下 大阪市廃止・分割のデメリット

①高度で専門的なサービスの提供ができなくなります。②お金がないから、各区長の判断により、事業や施設が廃止・見直しされます。③特別区を越えて施設の利用ができなくなります。④重要な街づくりの権限が減らされ、選挙で選ばれた区長であっても、やりたい街づくりができなくなります。⑤一部事務組合には住民の意見は届かなくなります。

#### ！ 変えるべきものは「制度」ではなく「政策」です

いま必要なのは、膨大な労力や時間を要するような大規模な仕組みの変更ではなく、区政会議の充実や改正地方自治法による「総合区(今の行政区よりも権限や財源を持った行政区)」の活用なので住民自治の強化を図っていくことです。

決にも拘わらず再び出た市立幼稚園の廃止・民営化条例案。相次いで地域の集会所が開かれました。

玉造幼稚園の民営化を考える集会では会場を増やしての開催となり、地域の関心の高さを伺わせました。講師の中山徹さん(奈良女子大学)から民営化後の公私連携幼保連携型認定子ども園について、話を聞きました。

幼保連携型については既に泉佐野市などが公立のまま、子ども園に移行しています。現場の声を聞いてみるとカリキュラムや行事のもち方、保護者会や教員研修の問題などで課題は山積です。それでも泉佐野市は公的責任を持つとしています。大阪府はどうでしょう。公的責任を果たさずという姿勢は何えませんか。

また、廃止・民営化の理由については市の財政負担減があげられていますが、市立を減らせばその分地域交付税も減るので、廃止すれば単純に財政負担が減るのではないとのことでした。公立幼稚園

は地域の財産であり、あり方については地元の方々がしっかり考え議論したい、慌てる必要はないと。最後に玉造幼稚園PTA役員の方が「たくさんの方々が玉造幼稚園のことを考えて下さって感謝します」と発言され、幼稚園部としても同じ思いに大きく頷きました。

また、新高小学校でも新高幼稚園の民営化を考える地域住民の集会が開かれました。講堂一杯の参加者を見て、公立幼稚園は必要とされている実感。会場からは現在新高幼稚園に子どもが在籍しているお母さん達の涙ながらの発言や、元保護者の方達、町会長はじめ地域の方達の力強い発言が続き、地域が一体となり、公立幼稚園を守ろうという大きな力に、これからの闘いへの元気をもらう事が出来ました。

#### たんぽぽ だより 10月

2学期は行事がたくさんあり、忙しくされている方も多いと思います。運動会、体育祭の練習の真っ最中という方もいることと思います。疲れは出ていませんか。さて、そんな忙しい合間をつかって、市教青年部

チームも活動していません。戦争法案に反対する行動を扇町公園や各方面での呼びかけなど、精神的に動いていきます。少しの時間でも自分の声をあげること、それが何より大切なことです。テレビや新聞を見ていて、何

もできないままでは始まりません。一人ではなく、同じ考えを持った人たちが集まると大きなパワーになります。もし、少しでも声をあげたいという方がいたら、一緒に行動しましょう。今後、も大切な国、生活、そして子どもたちを守るために呼びかけていきたいと思います!

大阪市教青年部では、月に1回集まって話す機会を設けています。職場で感じたこと、もちろん悩みだけでなく、楽しいこともたくさん話します。「つながり」を大切に活動しています。気軽に顔を出してくださいね。実りの秋ともなってきました。毎日をおくりましょう!